



令和6年11月6日

担当課	高齢者・地域福祉課
担当者	奥野・小南
電話	435-1063
内線	5268

避難行動要支援者の避難訓練について

～個別避難計画に基づいた地域の共助によるつながりを高めよう～

加太地区防災会が主催する防災学習会において、南海トラフ巨大地震が発生した想定のもと、自助、共助による防災体制の強化を図るための防災訓練に避難行動要支援者本人が参加します。

このたび、加太地区居住の避難行動要支援者を対象に個別避難計画の作成を行いました。訓練当日は、個別避難計画の実効性を確保するため、避難支援等関係者(自治会や民生委員・児童委員等)の支援のもと、各個人で設定した避難先まで避難を行います。

※個別避難計画は、令和6年7月1日現在、加太地区の避難行動要支援者名簿の中で、南海トラフ巨大地震による津波浸水想定区域、土砂災害警戒区域の居住者を作成対象としています。

- 日時 令和6年11月9日(土) 8時00分から11時30分
※小雨は決行しますが、荒天時等は中止となる場合があります。
- 場所 加太小学校体育館 (※訓練は、各自宅での安全確保行動から開始します。)
- 参加者 加太地区住民、加太地区自治会、加太地区民生委員・児童委員
高齢者・地域福祉課、地域安全課、北消防署、加太消防分団

4 内容

(1) 津波避難訓練(8時00分から9時00分)

南海トラフ巨大地震が発生し、大津波警報が発表され、加太地区に最短49分で津波が到達するという想定のもと、各自治会で近隣に声をかけあいながら、自治会毎に定めた避難先へ避難※する。

※避難行動要支援者(3人)の方が参加し、避難支援を実施

(2) 体験学習等(9時15分から11時30分)

- ・婦人防火クラブによる放水訓練
- ・炊き出し
- ・AED体験
- ・地域安全課職員による「避難行動マイタイムライン」の作成指導等



①昨年の訓練の様子(参集後)



②昨年の訓練の様子(炊き出し)

<個別避難計画とは>

災害時に自ら避難することが困難な方の名簿を作成し、1人1人の避難先や避難を支援する方等を定めた避難計画を作成するものです。

本市では、南海トラフ巨大地震による津波の浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の災害リスクのある区域に居住している避難行動要支援者を優先して作成しています。